

ジェネリック医薬品で負担の軽減を

米田 貴志 議員

【問】新薬からジェネリック医薬品に変えた場合、個人負担は最大でどのくらい軽減となるのか聞きたい。

【答】個人負担が減ることにより、保険者である市の負担も減り、国民健康保険料の減額につながるかと考えるがどうか。

【答】一月月最大で約1万円1千円の減額であった。ジェネリック医薬品は、開発

コストが少ないので、新薬より3割から7割安くなつており、本人と保険者の負担を削減できる。

【問】アジアをはじめとした外国の人たちを対象に、岸和田で日本文化の情緒を味わえるコンパクトな観光と、市民病院でのPET検査を組み合わせた医療ツーリズムを観光振興策として展開すべきと考えるがどうか。

地震ハザードマップ 有効な活用を

西村 芳徳 議員

【問】近い将来、発生が予想される巨大地震から子どもたちを安全に守るため、校舎の耐震化工事が進められ、平成27年に完了を予定している。

【問】地震ハザードマップが作られ、建物激甚被害区域が示されているが、それを加味した耐震化工事の優先順位の見直しが必要と考えるがどうか。

【答】建物被害は、建物自体の強度だけでなく、地盤の状況や地震動の振幅、周期などにも影響される。学校教育施設耐震化計画を基本に、地震ハザードマ

【問】近い将来、発生が予想される巨大地震から子どもたちを安全に守るため、校舎の耐震化工事が進められ、平成27年に完了を予定している。

【問】市内各部署の管轄事業の中で、地震ハザードマップを活用すべき項目の点検や次のステップをどう展開するのかが聞きたい。

【答】他の公共施設についても地震ハザードマップを活用し、耐震化を進めるほか、民間住宅などを対象にした耐震診断や改修のための補助制度の充実、耐震化についての出前講座などを通じ、啓発に努めたい。

議論白熱 7人の議員が一般質問

※【問】の記事は質問した議員が作成しています。

専門性を生かした 事業仕分けを

信貴 芳則 議員

【問】国や自治体では、事業仕分けが盛んに実施されており、独断的な仕分けに対する反発も多い。

【問】本市では、全国に先駆けて市民団体が市内各所の美化活動に取り組み、一定の成果を上げてきた。さらに、ポイ捨てなどに対処するために、行政として美化条例の制定が必要であると考えがどうか。

【答】ポイ捨てなどの対処には、市民一人ひとりの意識の向上と良識ある行動によるところが大きい。

新しいリスク 本市の対応は

澤 榮一 議員

【問】自殺者は年3万人を超過、その原因のトップはうつ病である。また、児童虐待の相談件数は年4万4210件と19年連続で増え続けている。このほか、高齢者問題、雇用問題など、これまでの社会保障制度では想定し得なかった「新しいリスク」がある。

【問】府と各市町村が国民健康保険を広域化し、保険料を統一することを合意した。各市町村で一般会計からの繰り入れをなくすことを狙っているが、国保

誰もが安心できる 国保制度に

池田 啓子 議員

【問】本市の国民健康保険加入者の社会的・経済的実態と安心して医療を受けるための課題について聞きたい。

【答】高齢者の加入が大幅に増加し、被保険者の高齢化が進むとともに、低所得者が多くを占めている。国民皆保険を支える国民健康保険制度は、福祉的な側面も持っていると考えられる。

【問】府と各市町村が国民健康保険を広域化し、保険料を統一することを合意した。各市町村で一般会計からの繰り入れをなくすことを狙っているが、国保

民間ノウハウを生かせる 指定管理者制度へ

京西 且哲 議員

【問】市民の財産である公の施設に指定管理者制度を導入することで、民間のノウハウを生かした効率的な管理運用をめざしているが、19施設のうち民間企業の指定は2施設にとどまり、17施設は公共的団体が指定管理者となっている。

【問】指定管理者から提出される事業報告書の審査や、施設管理運営などの確認業務は、所管部署だけが持っている。

【答】市民の理解を得られる評価・検証チームの設置と、運用指針の見直しが必要と考えるがどうか。

【問】指定管理者から提出される事業報告書の審査や、施設管理運営などの確認業務は、所管部署だけが持っている。

【答】市民の理解を得られる評価・検証チームの設置と、運用指針の見直しが必要と考えるがどうか。

集中豪雨 その後の対策は

鳥居 宏次 議員

【問】平成16年5月の集中豪雨では排水ポンプの停止により、磯上及び春木地区を中心に大きな被害があった。

【問】平成16年5月の集中豪雨では排水ポンプの停止により、磯上及び春木地区を中心に大きな被害があった。

【問】平成16年5月の集中豪雨では排水ポンプの停止により、磯上及び春木地区を中心に大きな被害があった。

【問】平成16年5月の集中豪雨では排水ポンプの停止により、磯上及び春木地区を中心に大きな被害があった。

【問】平成16年5月の集中豪雨では排水ポンプの停止により、磯上及び春木地区を中心に大きな被害があった。

【問】平成16年5月の集中豪雨では排水ポンプの停止により、磯上及び春木地区を中心に大きな被害があった。